

校内研修計画

甲州市立菱山小学校

1 学校課題

本校では、教育に関する法令等の基本的なねらいと方針、さらに平成25年度山梨県学校教育目標指導重点とともに、児童・家庭・地域の実態及び願いをふまえ、学校教育目標に設定し、日々の実践を進めている。

本校では、「自ら学習する子ども」の育成を目指し、「主体的に学習する児童の育成」を研究主題に設定し校内研を進めてきた。子どもたちに生きる力をはぐくむために、確かな学力の定着を図ることが必要とされる中、知識・技能を習得し、これらを活用し課題を解決するために、「活用する力をはぐくむ授業づくり」を、算数科に焦点を当てて研究を進めてきた。研究推進にあたり、児童の実態を把握すると問題をとらえる力と考えを組み立てる力については、ある程度できているが、学び合う力や伝える力の点について課題となった。

基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた指導の改善、思考力・判断力・表現力の育成を目指し、「活用する力」をテーマに、共通理解のもとで取り組みを焦点化させていくことが重要であろう。「確かな学力」の育成を目指し、基礎基本の習得と、それらを活用する力をいかにはぐくむかを研究実践していくことが求められる。

2 研究主題

主 題 「主体的に学習する児童の育成」

副主題 ～活用する力をはぐくむ授業づくりを通して～

3 主題設定の理由

昨年度の研究では、前年度に引き続き「主体的に学習する児童の育成」を目指して、授業の様々な場面で思考力・判断力・表現力を引き出すための工夫や授業改善を進めた。子どもたちもこのような授業展開が自然に身に付いてきたことにより、自ら問題解決をしようとする意欲が感じられるようになってきた。授業実践の中では、「活用する力」に焦点を当てた授業づくりによって、子どもたちは様々な既習事項を組み合わせる答えを導き出そうとする様子が見られた。多様な考え方や様々な解決法を見いだすような活動を要求する学習過程を設定することによって、子どもたちは新しい考え方の発見に向けて意欲的に試行錯誤をしていた。

多様な考え方が見いだされるようになると、話し合いや発表の方法も考えなくてはならない。そこで、本年度は、既習の知識を活用して新しいことを考え出したり、分かりやすく表現したりすることを大切に指導を心がけ、「線分図・数直線の指導の系統」に視点を向けた授業づくりとともに子どもたちが発表したくなるような場を設定したり、興味関心が低下しないように効率的な表現方法や発表や話し合いの形態を工夫したりすることなどを通して、児童ひとりひとりの学ぶ意欲を引き出す授業実践を全学年で取り組んでいきたい。さらに、自分の考えを説明したり、友だちの考えを認めたりする学び合い・話し合い活動を通して、思考力や表現力を高める手立てを追究していきたい。

また、本年度も研究を推進するにあたり児童の実態をより把握し、不足している力や指導が必要な力を明らかにし、それに基づいての基礎的・基本的な知識・技能の習得に向けた指導の改善、思考力・判断力・表現力の育成を目指し、話し合い活動の活性化を図る「言語活動の充実」「活用する力」をテーマに、共通理解のもとで取り組みを焦点化させていきたい。

さらに、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとも連携し、「NRT」「Q-U」調査を活用して学級集団づくりにも焦点を当てていきたい。

4. 研究の具体的内容と方法

(1) 研究内容

- ・児童の実態を把握し、課題を明確にする。

- ・算数科の授業において、基礎・基本の知識・技能を習得させ、活用力を育てるために、指導方法を工夫し改善する。
- ・話し合い活動の活性化を図る「言語活動の充実」の取り組みを重点化させ、研究を進める。
- ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの3つの柱【授業づくり・授業改善】【学級・集団づくり】【保護者・地域との連帯】と随時リンクしながら校内研究を進める。
- ・低学年・高学年ブロックごとに指導法を研究し、それぞれ年1回の研究授業を行う。
- ・一人一実践による授業公開をし、互いに学び合う場を持つ。

年間校内研修計画

研究主任 高添 勉

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	TC要請
「主体的に学習する児童の育成」 ～活用する力を はぐくむ授業づくり を通して～	・校内研の運営について ・研究主題 研究内容 ・校内研の年間計画の決定 ・授業研究の内容と計画 ・児童の実態把握（Q-U検査・NRT検査）	研究主任 各ブロック		4月	
	・授業研究の計画 ・低高ブロック研究 ・学力向上の取り組み	研究主任 各ブロック		5月	
	・低学年授業案検討 ・研究授業	各ブロック 研究主任 授業者	3学年	6月	○
	・低高ブロック研究(授業研究) ・実践授業研究	各ブロック		7月	
	・特別支援学習会 ・教育課程研究（還流）	特別支援教育担当		8月	
	・高学年ブロック研究授業 ・研究授業授業案検討 ・算数科研究授業	各ブロック 研究主任 授業者	6学年	10月	
	・実践授業研究	授業者		12月	
	・低高ブロック研究 (成果と課題)	各ブロック 研究主任		1月	
	・校内研究全体の成果と課題 ・実践授業研究	研究主任 授業者		2月	
	・次年度教育課程 ・研究紀要作成	教務主任 研究主任		3月	